兵庫県立篠山東雲高等学校 第3次アクションプラン

農業を学ぶ高等学校では、就農者の育成をはじめ、かけがえのない豊かな自然と美しい地球環境を守り、生命を尊び、我が国の循環型社会へ移行するための役割を果たすことを誓い、平成18年度(2007年度)に「エコロジカル·アグリハイスクール宣言」を行い、「5つの基本方針」、「10の行動計画」からなるアクションプランを策定し、農業教育の向かうべき方向性を明確に示し活動してきました。

そのような中、これから5年先を見据えた第3次アクションプラン(平成29年度~)では、「我が国の未来を担う人材を育て地域で活躍させる」ための行動計画を策定しました。このアクションプランでは、生徒の進路を実現させ、教員の資質を向上させることを目指しています。そして、農業を学ぶ高校の持つ価値と役割を見つめ、「世界規模で考え、足下から行動する学校」であるとして「グローカル・アグリハイスクール宣言」を行いました。

全国農業高等学校長協会行動計画		学校における取組み	
5つの基本方針	「10の行動計画」	取組み	キーワード
I グローカル教育で 人材を育てる学校	①「生徒一人一人を一層輝かせ成長させる」教育を行います。	(1)日頃の学習を活かし、情報処理検定や日本 農業技術検定、各種技能講習等の取得に率先し て取り組みます。	アグリマイスター顕彰
Ⅲ地域社会・産業に 寄与する学校	_	(2)日頃の学習や課外活動を重点的に行い、農業クラブ活動などを積極的に取り組む生徒を育成します。	類型学習 農業クラブ活動
Ⅲ地域交流の拠点となる学校☑地域防災を推進す	②「世界と日本をつなぐグローカル」教育を行います。	(1)兵庫県若手地域農業リーダー育成事業 (ブラジル研修) への参加を推進します。 (2)篠山市主催のアメリカワシントン州の短期交換留学への参加を推進します。	グローカル教育 ブラジル等の海外研修
る学校 ▼地域環境を守り創造する学校	③「地域農業の生産を支える」 教育を行います。 □	(1)課題研究や類型学習の中で、丹波篠山地域の特産物や農業の栽培・病害虫などに関する研究を行い、地域と連携します。 (2)農業クラブ活動を通して、地域の農業リーダーを育成します。	生産技術 農業経営 類型学習 農業クラブ活動
	④「地域の農業関連産業や6次産業に寄与する」教育を行います。	(1)現場実習やインターンシップの体験学習を行い、農業関連企業従事者としての職業観や勤労観を育成します。 (2)農産物の加工の学習を行い、6次産業化を学びます。また特産農産物の栽培を学習し地産地消について学習します。	地域産業貢献 6次産業化 地産地消 インターンシップ 現場実習
	⑤「地球環境を守り創造する」 教育を行います。 Ⅲ	(1)農業の授業を通じて循環型農業や農業の多面的機能を学び実践します。 (2)自然科学部の活動として、地域の河川や里山の生態系保全活動を行います。	環境技術·創造 環境保全型農業 自然科学部
	⑥「食農」教育を推進します。 Ⅲ、Ⅳ	(1)フードインスティテュート類型の学習を中心にして生徒に食育を推進します。 (2)地域特産物の加工調理を通じ、地元小学生等と交流します。	食農教育
	⑦「地域資源を活用する」教育を行います。 □ □、□、Ⅳ	(1)丹波篠山の特産物栽培等の研究を行い、篠山の農業拠点として地域にその成果を発信します。 (2)放置竹林や農産物等から出る産業廃棄物を	資源活用 拠点農業 類型活動
	⑧「地域交流の拠点となる」教育を行います。Ⅲ、Ⅲ	活用した循環型農業を行います。 (1)動物を活用した獣害対策や特産物栽培に関する地域の農業研修を積極的に行い、地域の農家との農業交流を行います。 (2)園芸セラピーや園芸療法などを学び、特別支援学校や福祉施設などの交流を行います。	ヒューマンサービス 課題研究 園芸療法

	T	
⑨ 「各種農業関係機関・団体と	(1)大学と連携を行い、大学生や農家との農業	
連携した」教育を行います。	体験等を行い、広い視野を身につける教育を行	地域連携
I, II, IV, V	います。	高大連携
	(2)類型毎にひょうごの達人招聘事業や関係機	问八年历
	関の各事業等を活用し、大学や専門機関と連携	ひょうごの達人招聘事業
	し高度な教育を実現します。	
⑩「地域防災を推進する」教育	(1)阪神淡路大震災の経験を活かした防災教育	
を行います。	を実践するとともに、農業を活用した防災機能	
V	や農業の多面的機能の活用を実施します。	地域防災
	(2)全国の災害ボランティア活動(東北ボラン	
	ティア等)を積極的に推進し、地域の防災につ	
	いて理解を深める教育を行います。	